Sense 3D Scanner



立体物の形をスキャンし、3Dのデータとして取り込むことが出来ます。 ハンディタイプなので大きさ制限なし!いろいろなものに挑戦しましょう。

準備

概要

OUTLINE

PREPARATION

この項では機材を使うための準備について説明します。

001

Sense をFABスペース常設PCと接続し、 Software を起動する

Sense を使用するためには、Sense本体 をFABスペース 常設PCに接続し、Sense Software を起動してください。

Welcome to Sense

Before we get started, you will have to activate your scanner through our website. You will need your device serial number:

1412140192

Get activation code from Cubify.com

※注意
 最初の画面で本体の認証を求められた場合は「I have an activation code」を選択し、本体SNが(1421140192)の場合は「4571」
 を入力し、「Activate scanner」を選択してください。

Enter Activation Code

er the four-digit activation code provided to you when you ered the serial number of your scanner at Cubify.com



0000

使用方法 HOW TO USE

この項では機材の使用方法について説明します。



001

SeneseとPCを接続し、ソフトを立ち上げる

Sense本体のケーブルをPCに接続した状態で、 ソフトウェアを起動します。



002

スキャンの対象物を選ぶ

まずはスキャンの対象物を選びましょう。 「Person」「Object」のどちらかを選んだ後、 さらに大まかなサイズが選択できます。

このマニュアルでは「Person」内の「Head」を選択します。





Senseを対象物に向けると、

スキャン可能な部分だけが表示されます。

ちょうどいい距離を見つけましょう。

画面上部の ▶ マークを押すとスキャンが始まります。



004

対象物をくまなくスキャンする

Senseを対象物に向けたままゆっくりと回り込み、 対象物の全体をスキャンしていきましょう。

画面上中央の **□** マークを押すと一時停止し、 右上の → マークを押すとスキャンを終了します。

※ズレが大きくなると「Lost Tracking!」と表示されます。 うまく元の位置に戻すか、初めからやり直しましょう。



୨ ୬ **ଜ ଦ** ଡ

←

→

ා 🤊 🏠 🌣 🚱

·· » %

1

Edit

女 🧷



005 モデルを編集する(Edit / Enhance)

スキャンしたモデルを編集していきます。

「Edit」でできること

- ・Crop:必要な範囲だけを矩形で選択します。
- ・Erase:不要な部分を自由選択し、削除します。
- ・Solidify:自動的ににモデルの穴埋めをします。

「Enhance」でできること

- ・Auto Enhance: 色合いを自動で調整します。
- ・Trim:直線でモデルを切り分けます。
- ・Touch Up: ドラッグした範囲をスムーズにします。

Solidifyをかけることで、スキャンしきれなかった部分が 自動的に補完されます。慣れないうちは必ず選択しましょう。



006 データを保存する

「Share」の画面まで進んだら、 画面上部の 💾 マークを押し、データを保存しましょう。

ファイル名は自由につけることができます。 拡張子をつけない場合、ply形式で保存されますが、 objやstlで保存しておくことを推奨します。

Settings

Orientation	Landscape Portrait
Resolution	Low Med High
Object Size	Small Med Large Custom
Width	0.6 m
Height	0.6 m
Depth	0.6 m
Prompt on Startup	
Object Recognition	
Color	
Frame Rate	
Target Ring	

007 [発展編] スキャンの設定

画面右上の☆マークから、スキャンの詳細設定を変更できます。 撮りたいものに合わせ、自由に調整しましょう。

Orientation:スキャナー画面の縦横に関係します。
Resolution:解像度を変更します。
Object Size:Customを選ぶと自分で対象範囲を決められます。
Prompt on Startup:起動時の対象物選択の有無を切り替えます。
Object Recognition:スキャナー側で対象物を判断し、

画面表示の際別の色で表します。

Color:色情報を認識します。
Frame Rate:画面上にフレームレートを表示します。
Target Ring:画面上にTarget Ringを表示します。